

八丈島 水産だより 2月号 2011



明日葉の新芽



トビウオ漁船の入港

今年の八丈島の1月は、寒い冬となりました。例年では冬でも10℃以下になることはあまりありませんが、今年の1月には5℃以下になる日もありました。しかし、2月に入ると寒さもやわらいできました。八丈島では、「明日葉」と「アロエ」などのヘルシー食材の試食や「明日葉」の無料つみとり体験などを行うヘルシーフェスタが2月6日まで行われています。

はるつげうお とうじょう

■ 春告魚の登場！



春トビの水揚げ

1月29日、今年になって初の春トビ（ハマトビウオ）が水揚げされました。いつもの年は2月の節分頃に初出漁を迎えますが、今年は少し早目に春トビが島の近くにやってきました。春トビは八丈島で「春告魚」と呼ばれ、その名のとおり春が来たことを知らせる魚として人気があります。初水揚げは、約1,700尾となりました。今年の大漁が望まれます。



春トビ(ハマトビウオ)



■ 夜のトビウオ漁

八丈島の春トビはハマトビウオと呼ばれ、体長が50cm程になる大型のトビウオです。八丈島では、トビウオ漁を夜に行います。夕方出港し、まず、島の近くでトビウオを探します。群れを見つけたら、トビウオの通り道をさえぎるように長い網を海に垂らし、引っかかったトビウオを網ごと引き揚げます。この漁業は、「トビウオ流し刺網漁業」と呼ばれています。



網を揚げているところ